

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術 I

教 科： 芸術

科 目： 美術 I

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者： （ 1 組： 藤沢 ） （ 2 組： 藤沢 ） （ 3 組： 藤沢 ） （ 4 組： 藤沢 ） （ 7 組： 藤沢 ） （ 8 組： 藤沢 ）

使用教科書： （ 光村図書「美術 I」 ）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深め、創造的な美術表現をするために必要な技能を身につけ、意図に応じて表現方法を工夫し表せるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 造形的な美しさ、表現の意図と創造的な工夫について考えられるようにするとともに、発想をもって構想を練られるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 積極的に美術や美術文化と関わり、主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取組む力を養う。

科目 美術 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深め、創造的な美術表現をするために必要な技能を身につけ、意図に応じて表現方法を工夫し表せるようにする。	造形的な美しさ、表現の意図と創造的な工夫について考えられるようにするとともに、発想をもって構想を練られるようにする。	積極的に美術や美術文化と関わり、主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取組む力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
			絵 ・ 彫	デ	映							
1 学 期	A 絵具の種類とその使用方法 【知識及び技能】 顔料と展色剤からできている絵具の構成、種類等について知り、その特性や長所短所を会得する。 【思考力、判断力、表現力等】 どんな場面で、どのような絵具が最適なのかを知り、制作をのぞめるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術作品の彩色について、関心がもてるようにする。	・ 絵具の構成、顔料と展色剤についての説明。 ・ 歴史的に見て、どのように絵具と画面となる素材が変化を遂げたのかについて、説明を行う。 ・ これから使用することになる、アクリル絵具の特性、すなわち、長所短所についての説明。	○			○	【知識・技能】 絵具の構成、顔料と展色剤について、その役割が理解できたか。 発展的に、現代急速に広まっており授業でも使用するアクリル絵具の特色について、理解できたか。 【思考・判断・表現】 各時代によって、絵具の展色剤が変化してきたが、そのことを踏まえて各時代の絵画等の美術作品を再認識できたか。 【主体的な取組】 絵具への関心を深め、画材を今後使用していくことについて、応用を図ろうとしているか。		○	○	○	2
	B 幾何形体及び石膏像のデッサン（デッサン基礎） 【知識及び技能】 デッサンについて理解するとともに、その関連する技術を身につける。物体を観察し、正確にとらえる力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 デッサンの表現の中で、自らの課題を発見し、合理的かつ創造的な解決を行う。 【学びに向かう力、人間性等】 自らデッサンを学び、主体的及び創意工夫をもって、取り組む。	・ デッサンの基礎部分、鉛筆の持ち方、鉛筆（芯の濃さ等）の使い方、明暗の作り方を説明及び指導する。 ・ 陰影、反射光の描き方、ハッチング、ぼかし等の簡単な技法を説明及び指導する。 ・ 対象物が正しい比例配分によって画面に描かれるように指導する。	○			○	【知識・技能】 鉛筆の扱い方、画面の明暗段階の作り方ができているか。 鉛筆を用いて、形やものの陰影、反射光等が十分に表現できているか。 【思考・判断・表現】 自分の意図を表現するため、その描き方を創意工夫できているか。 デッサンによって、造形的な美しさを表現できているか。 【主体的な取組】 説明をよく聞き、作品を提出できているか。 美術の創造活動に対し、自ら学び、主体的な学習活動となっているか。		○	○	○	6
	C 文化祭、体育祭ポスター制作 【知識及び技能】 ポスターとは何か、ポスターの役割等について、知識を習得する。 画面の構図・配置は、適当な美しさを持ったものになるようにする。 アクリル絵具の特性を理解して、作成を行うようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 発想を得て、オリジナリティのある構図となるように指導する。 着色については、色彩バランスがあるように工夫するとともに、独創性のある作品に仕上げる。 文化祭のポスターとしてふさわしい表現となるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的かつ積極的にポスター制作を行うようにする。 完成度の高い作品になるように細部の丁寧な仕上がりを心掛ける。	・ 今回のテーマに沿ったポスターの制作となるように指導する。 ・ ポスター制作に当たっては、独創性を持ったものとなるように指導を加える。 ・ マッピング等の技法を使って、ポスターの着想を拡げる。 ・ 得られた発想を適切な構図へと転換し、下絵（スケッチ）を画用紙に作成する。 ・ 厚手ケント紙（B3判、ポスター用）に、鉛筆等で構図を描き、配置を完成させる。 ・ 厚手ケント紙に着色していく。 ・ レタリングの基本について、説明を加え、指導する。 ・ 最後に、画面の細部の仕上がりに拘った仕上がりを試みるように指導する。 ・ 出来上がった作品について、個人単位で制限時間を設けて、発表してもらう。				○	【知識・技能】 文化祭ポスターとしての役割を理解した作品となっているか。 メッセージを伝えるポスターデザインとして、制作手順を理解し実行できているか。 ポスターとして、構図や色彩は、適当なものとなっているか。 【思考・判断・表現】 発想がオリジナリティがあるものとなっているか。 表現方法についても、自分独自のものが伺われる作品となっているか。 画面の色彩や配置が、適当なものとなっているか。 【主体的な取組】 説明をよく聞き、それに沿った作品を提出できているか。 その表現について、様々な工夫を取り入れたものとなっているか。 友人との作品鑑賞において、積極的に参加し、自己作品の振り返りがされているか。		○	○	○	18
	D 野菜や果物の模刻（石塑粘土を使用して） 【知識及び技能】 石塑（石粉）粘土の性質、特性につ	・ 対象となる野菜や果物について、細かく観察し、鉛筆を使って数枚のスケッチを行う。 ・ 石塑粘土について、その特性、					【知識・技能】 石塑粘土の性質やその使用方法、作成上の注意事項を理解しているか。 石塑粘土についての特性を理解した上で、粘					

[illegible]